

# 新型コロナウイルス感染症を予防し

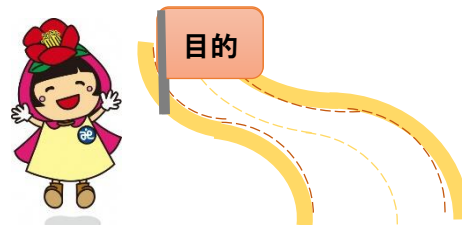
## 地域活動を再開するためのポイント(運営者用)

### 事前・準備編

#### 1. 事業の実施内容や目的・方法を再確認する。

まず、事業の目的を再認識した上で、事業の実施方法が目的を達成するために、現在のやり方が適切かどうかを再確認してください。

(目的を達成するための新たな代替手段が見つかるかもしれません。)



#### 2. 地域の理解を得ながら再開する。

新型コロナウイルス感染症に対する意見が様々あります。再開に向けては、地域の各種団体と連携し、自治会長やキーパーソンに理解を得た上で再開してください。



#### 3. 広報やチラシの周知を図り、当日、参加する方への留意点を伝える。

- ・3密にならないよう会場等が設定する定員を事前に伝える。
- ・可能な限り、事前予約制で誰が来るか把握できるようにする。
- ・マスクの着用、体調不良時は参加を控えていただく旨を了解してもらう。
- ・参加者多数の場合には、入場を制限し、断る場合があることを明示する。
- ・参加費徴収の場合は、おつりが出ないよう依頼する。



#### 4. 当日の材料や備品の準備

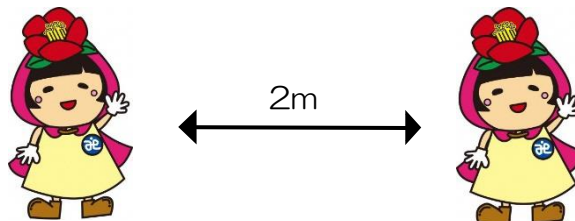
- ・衛生備品（マスクや手袋、アルコール消毒等）を準備する。
- ・飲み物のコップなどは、使い捨ての物をできるだけ使用する。
- ・材料を使う場合は、複数名で共有しないよう個別に準備をする。
- ・軽食を準備する場合は、個包装の物を購入し、準備をする。



## 5. プログラムについて

- ・人と人との距離＜ソーシャルディスタンス＞（2m）が保てるようなプログラムを企画する。
- ・歌を歌ったり、大声を出したり、かなり息が荒くなるようなプログラムは控える。
- ・再開後、しばらくは普段よりも時間を短めにプログラムを実施し、運営側も徐々に慣れていく必要がある。
- ・大きな声で指示を出さなくてもよいよう、マイク等を準備する。
- ・会場等が設定する定員を遵守する。

当日編



## 6. 当日について

- ・衛生備品（マスクや手袋、アルコール消毒等）を準備する。
- ・参加者の名簿の確認、体調の聞き取りを実施する。（別紙 名簿参照）
- ・椅子の配置は、可能な限り2mの間隔を空ける。お互いの荷物が触れないよう、自分の荷物は、自分で管理していただく。
- ・入り口付近で複数人が触れるような手すり、共同スペースであるトイレのドアノブなどは随時、消毒する。
- ・手洗い・消毒の徹底。→（新型コロナウイルス感染症の予防 出典：首相官邸 HP より参考）
- ・3密を避けるため、毎時2回以上、数分間の換気を行う。
- ・マスクを着用しての活動が増えるため、熱中症対策にも心がけ、定期的な水分補給を心がける。
- ・食事やお菓子・飲み物を提供する場合は、お盆やトレイを使い、手渡しをなるべく避ける。
- ・個人が消費した飲み物や食べ物のゴミは、スタッフが後片付けをせず各自で片付けてもらう。
- ・参加者が一斉に帰らないように時間をずらして退出してもらう。



## 7. 終了後について

- ・会場の清掃・ドアノブや机・椅子等の消毒作業を行う。
- ・スタッフで反省会を実施し、次の開催に向けて良かった点・改善点を話し合う。
- ・利用者名簿を保管しておく



作成にあたっての参考資料：

通いの場×新型コロナウイルス対策ガイド 第1版 東京都健康長寿医療センター  
新型コロナウイルス感染症の予防 出典：首相官邸 HP